

北海道新聞に

第72 回研修会(北海道・標津)

の活動が掲載されました！

2012年9月11日(火) 北海道新聞

北海道新聞

2012年(平成24年)9月11日(火曜日)

牛乳料理作りに挑戦する留学生たち



留学生ら牛乳料理

標津エコツー協 16人受け入れ

【標津】体験観光の窓口の町エコ・ツーリズム交流推進協議会(千葉元会長)が6日から11日まで、アジア人留学生の研修旅行を受け入れている。外国人受け入れは2月に続き2回目で、10日は牛乳料理作りを紹介した。

家庭に泊まり、カヌーや釣り、サケ加工場見学などを行っている。標津町農協で行われた料理作りでは、農協女性部の5人がホワイ

トソースやピザ生地の作り方を指導し、サケグラタンとホタテピザ、アイスクリームを完成させた。今年4月

支援する共立国際交流奨学財団(東京)の主

催。中国、ベトナム、

台湾、韓国からの12人

と外国人と交流する日

本人の計16人が参加し

た。一行は旅館や一般

(伊藤美穂)

釧路新聞に

第72 回研修会(北海道・標津)

の活動が掲載されました！

2012年9月12日(水) 釧路新聞

釧路新聞 平成24年(2012年)9月12日(水曜日)

標津町農協女性部の指導を受け、牛乳料理に挑戦する留学生たち



新釧路

SENSHIN

根室版

9月12日水曜日

発行所 釧路新聞社

©興南新聞社2012

留学生12人受け入れ

標津町エコ・ツーリズム交流推進協 暮らしや産業学ぶ

体験型観光を推進し、修学旅行生などを受け入れている標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会(千葉元会長)は11日、留学生を対象とした研修ツアーの受け入れを行った。外国人の受け入れは今年2月に続き2回目で、参加した留学生たちは、ホームステイや

（熊谷幸子部長）が協力。チーズたっぷりのサケのグラタンや、生地から手作りしたホタテピザ、濃厚なアイスクリームを味わった。

この研修は、アジア留学生への支援を行っている共立国際交流奨学財団(本部・東京都)の主催。留学生が北海道や沖縄の田舎でホームステイして、地域の人々との交流や、生活文化体験を目的としている。同財団は、今年2月に初めて同町で研修を行い、参加した留学生の反応が良かったため、冬季だけではなく秋季の研修先として採用した。同財団の菊川長徳理事長は「青々とした牧草地や秋サケの郷土など冬とはまた違う面があり、首都圏に住む留学生にとって、日本のさまざまな面を見られる場所」と話す。

研修には、中国やベトナムなどからの留学生12人と、日本人学生4人が参加。旅館や一般家庭で宿泊して、カヌー体験やサケ加工場見学などを楽しんだ。10日は標津町農協で牛乳料理に挑戦し、同農協の女性部

（原田未央）

61